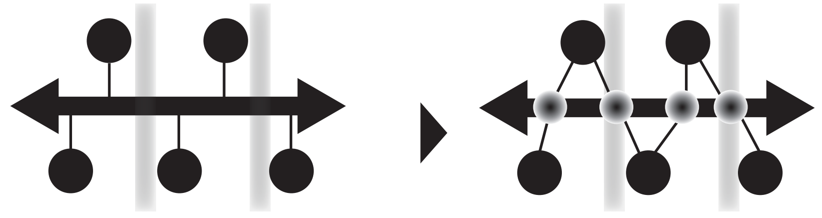
心地よさや楽しさなど、特色のある「止まる」場が数珠つなぎになったストリート。移動手段としての「歩く」のではなく、その場の個性が活かされた「止まる」場をハシゴして進むミュージアムロード。

「止まる」で「歩く」を促進し、賑わいを創出



芸術・文化施設を目的に来訪。それらをつなぐストリートが大きな幹線道路や線路などと交わると、その度に歩みと気持ちにブレーキがかかります。ミュージアム巡りから街歩きへ発展することは難しく感じられます。

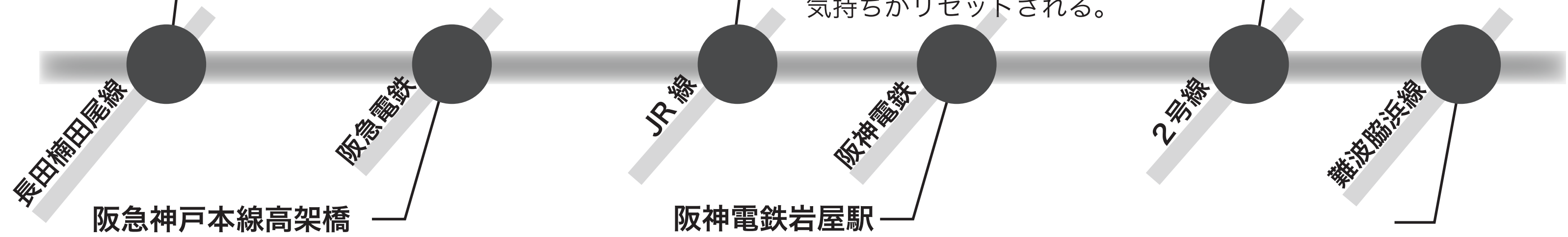
芸術・文化施設をストリートだけではなく、街歩きの拠点となる、魅力的な「止まる」場で繋ぎます。
来訪者を受け止め周辺施設や街の情報を提供し、街へと送り出します。

ミュージアムロードを歩いてみると・・・。

王子公園前
ゆったりとした並木道が心地よい交差点。
ファミリー、ギャラリー利用者、大学生など目的がはっきりしている来訪者が多い。動物園側から見ると、ミュージアムロードのスタート地点がわかりにくい。

JR 灘駅
灘の森テラスをコンセプトに整備が進行中で期待感に溢れた交差点
駅構内をミュージアムロードが通っている。改札前を通ることで日常に引き戻されるような感覚があり、街歩きの気持ちがリセットされる。

２号線
12 車線の車の往来は圧巻！
エレベーターやスロープが整備済。隣接施設とも連結されている。



その他
・周辺施設の情報発信が無い。
・統一されたサインが無い。

阪急神戸本線高架橋
土木遺産に登録されている美しいアーチの下の交差点 .。
道路を斜めに渡る長い横断歩道や、やや複雑に感じる道路の交わりで居心地の良さは感じにくい。

阪神電鉄岩屋駅
ミュージアムロードらしさを纏った印象的な駅。
ミュージアムロードから少し離れているうえ、土地の高低差により街と分断されている。

美術館や海側への歩道橋が印象的な交差点。
利便性が高く美しい歩道橋。歩道橋により街とミューアムロードが分断されている。

ミュージアムロードを横切る道路や線路との「交差点」は必然的に歩みが止まる場所であり、住む人と来る人が交わる場でもあります。
交差点の人が交わる性質を無理なく利用して、その場の魅力を強化し、周辺施設やミュージアムロードの魅力を紹介・発信する場を用意することで、
ミュージアムロードの認知度を上げながら、街へと賑わいが程よく滲み出て行くことをねらいます。

ミュージアムロードを歩くための止まる場の設定

一つの「止まり場」から、次の場の気配が感じられたり目視できる距離感で配置。

ミュージアムロードへと誘う
王子公園前
ミュージアムロードの山側のスタート地点として、インフォメーション機能を持った公園へ。

地域の資源を活かす
阪急高架橋下
土木遺産を通過するのではなく、地域の資産として、愛でる場所へ。

街と森の成長を楽しむ
JR 灘駅
「森」の成長と共に整うツリーハウスにいるような心地よい空間へ。

街と溶け合う
阪神岩屋駅
駅の利用者を街で受け止めるような、開かれた駅前広場へ。

交通量を楽しむ
2 号線
交通量の多さ、幹線道路を渡るストレスを長所に。

美術館と海を感じる
美術館前
美術館や海の気配や余韻に浸る開放的で心地よい空間へ。

王子動物園前　エントランスパーク

ミュージアムロードの山側のスタート地点として、来訪者も地域の方も気軽にくつろげる場とします。子連れでも気軽に渡って行けるよう、４車線の道路を２車線ずつに分けた中央に、既存の王子街園や王子町公園を移設、統合して新た公園を設置し、カフェを併設。ミュージアムロードのインフォメーション機能を持たせ、この公園に立ち寄ると、そこはミュージアムロードの入り口に立っていることに気がつけるようにします。

内側の周囲はベンチになっており、多くの人が座って過ごせる。

美かえるのキーカラーを取り入れたベンチやアート作品を配置。

ミュージアムロード周辺の最新情報を提供するデジタルサイネージ。

灘駅　ツリーホッピングデッキ

整備が進み、快適な駅前と進化してゆく “灘の森テラス” 灘駅。
“灘の森” の木々を渡るようなデッキで線路の南北を繋ぎ、ミュージアムロードとします。駅舎の中を通る既存のルートに加えて別ルート設定することで、移動を急ぐ人と「止まる」ことを楽しむ人を緩やかに分けます。
デッキからの景色や居心地の良さは 10 年、20 年と木々の成長と共に、ゆっくりと整えられ、駅前と思えないような、まさに灘の森にいるような心地よい居場所になるかもしれません。

デッキは駅と一部連結し、バリアフリー機能を共有し誰でも灘の森テラスを見渡すツリーハウスデッキに出られるようにします。

改札前を通ることで、日常に引き戻される感覚があったミュージアムロードを途切れることなく繋ぐことができます。

阪急電鉄高架橋～アーチギャラリー

阪急電鉄高架橋は地域の資産である美しい高架橋です。その資産を丁寧に鑑賞する場を土日だけ、イベント時だけでも設けてはいかがでしょうか。
ミュージアムロードにおいては、アーチに至るために片側３車線の道路を斜めに横切る長い横断歩道を渡り、道路が斜めに交わる少し複雑に感じる交差点の狭い歩道で信号待ちをします。
この場所を居心地良く整え、アーチの美しい曲線を愛でるアーチギャラリーとします。地域の作家さんや高架下の工房の作品などを展示するイベントなども開催し、地域と来訪者が交わる場とします。

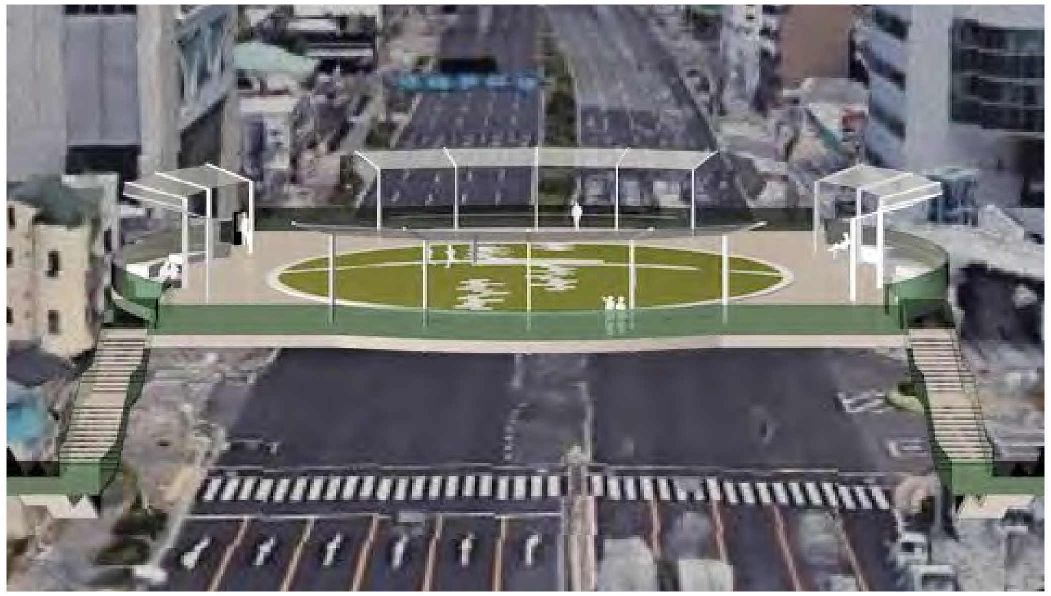
岩屋駅

駅前広場の高低差を活用して、街と一緒に賑わいを創出する駅前広場へ進化させます。
海側の道路の高さで道路を含めて駅前広場として整備し、広々とした駅前広場にします。この広場では、週末を中心に近隣住民も来訪者も楽しめる、さまざまなイベントの開催やショップが出店されることを想定します。

改札からの階段はベンチとしても機能し、イベント時には野外ステージのような使い方ができます。広場にはミュージアムロードの情報を提供する端末を用意し来訪者が街の情報を得られるようにします。

2号線との交差点　浮かぶ広場

10 車線の車の往来はもはやエンターテイメント！
10 車線を安全に渡るためだけでなく、この交差点を楽しめるような広場型の歩道橋とします。公園としてだけでなく、フリーマーケットなどのイベントの開催や屋台が出店できるようにし、中央の広場や周囲のベンチ、手すりを利用したカウンターで、飲食を楽しむことができます。昼はカフェ、夜はバーが出店し、夜景を楽しめる、少し面白い空間として立ち寄りたくなる場とします。
ミュージアムロードを訪れた人はもちろん周辺で働く人、住む人が昼も夜も楽しい、憩いの場とします。



中央の芝生広場はくつろぐだけでなく、様々なイベントの開催も可能。
既存のスロープやエレベーターでベビーカーでも訪れることができる。

美術館前プロムナード

アート作品が点在する美術館前の通りを海の気配を感じる広々としたプロムナードとして整備します。海に向かう印象的かつ利便性の高い歩道橋を勇気を持って撤去することで、街とミュージアムロードの分断を解消。街の賑わいや、海までの見通しを取り戻します。

近隣住民や学生の心地のよい公園として、美術館を訪れた人の待ち合わせ場所として、地域の人も来街者も混ざり合いながらそれぞれの使い方を見出せる居心地の良い空間とします。

さまざまなスタイルで座ったりくつろいだりできる、アート作品のベンチや様々な使い方に対応できるスペースをがレイアウトされ、アートと触れ合いながら街や交流を楽しむミュージアムロードらしい空間とします。